

プラスチックと糸のアップサイクル体験でリサイクルをより身近に！

(株式会社湘南貿易 × 大貫繊維株式会社)

取組の概要

プラスチックをアップサイクルしてキーホルダーを作るワークショップを企業へ提案・実施していたがストラップは既製品を購入していた。企業連携で廃棄予定の糸からストラップ作り体験も実施することができるようになり、1つのワークショップで、プラスチックと糸のリサイクルについて伝えられるようになると共に、イベント受注費用も1.3~1.5倍向上させることができた。

該当するSDGs目標 (3つまで)

12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



取組を始めた動機・課題

マニュアルインジェクション装置を自社購入し、PETボトルキャップ等からリサイクルしてキーホルダーを作るなど廃プラスチックのリサイクル普及に力を入れてきたが、プラスチック以外のリサイクルも伝えられればより説得力があるのではと考え始めた。

解決に向けた具体策と成果

ペットボトルのリサイクルで紐を作っている企業様は何社かあったが、よりエコな残糸をアップサイクルしてストラップや靴紐等の制作をしている大貫繊維様を神奈川県庁のイベントに参加した際に知り、ミーティングを重ね一連でのワークショップが可能となった。

取組による定量的な効果

ストラップ作りもワークショップとして受注できるようになったので、1件あたりの売り上げが1.3~1.5倍に上昇。

連携のポイント

プラスチックも糸もどちらも参加者がものづくりを体験できる事が共通していた点。